

# 飯坂ロータークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日  
 ガバナー 右近 八郎  
 ガバナー補佐 海老原 三博  
 会長 斎藤 孝裕  
 幹事 菅野 浩司

2023-24年度  
地区スローガン

ロータリーの  
誇りを  
楽しもう!

世界に希望を生み出そう

2023 - 2024 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのこころ 吉川屋  
 RI会長 コードR マッキナー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433  
 サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

通算

10月は地域社会の経済発展月間/米山月間

## 第13回 [3129] 例会報告 令和5年(2023)10月5日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	25名
欠席会員	11名
出席率	69.44%

### 言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 斎藤孝裕 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 服部裕一 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 白岩裕和 職業奉仕副委員長

◆お客様紹介 佐藤新一 様、多田 様 (佐藤喜市郎会員ご友人・神輿のお手伝い)

..... lunch time .....  
 ..... lunch time .....

### ◆会長の時間

本日はすす払いに参加された皆様方、お疲れ様でした。また、今日ご指導いただきました「プロ多田さん」ありがとうございます。良い勉強になりました。明後日は、いよいよ国際交流フェスティバルの本番となります。あとで牧子委員長の方からお話があるかと思いますが、4年ぶりに成功裏に収めたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。また、すす払いの際に美味しいおにぎりとめでたい鯛のあら汁を牧子さんにご馳走になりました。ありがとうございます。今日は国際交流に特化して、佐藤喜市郎会員よりお祭りの歴史について事細かくお話を聞かせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

### ◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 月信 「ガバナー月信」10月号 No.4

B. 来信 ①2022-23年度ガバナー 佐藤正道 氏より 「2022-23年度地区資金決算書・監査報告書(案)」

### ◆国際奉仕委員会より祭り「すす払い」の報告 鈴木牧子 委員長

今日は朝の9時から、たくさんの方に参加をいただきまして、神輿すす払いができました。立派に神輿が組み立てられました。本当にありがとうございます。こういう時に私は男女の事はあまり言いたくありませんが、うちの仕事の建前とか、祭りの神輿の組み立てでは、どうしても男衆の仕事になります。私が影でできる事をさせていただきました。本当に皆さんありがとうございます。いよいよ明後日が本番になります。概ね80名くらいの参加が見込まれております。どうぞよろしくお願いいたします。

### ◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計24s】

- 菅野 浩司 会員 5s 本日はすす払いお疲れ様でした。本番もどうぞよろしくお願いいたします。喜市郎さんのスピーチ楽しみにしています！ 前回欠席お詫びも兼ねて。
- 斎藤 孝裕 会員 3s すす払い、おつかれ様でした。喜市郎さんのスピーチ楽しみにしております。
- 石川 邦俊 会員 3s 前会欠席お詫び 喜市郎さんのスピーチたのしみにはしています。
- 鈴木 重忠 会員 3s 喜市郎さんのスピーチたのしみにはしております。
- 油井 明則 会員 3s 佐藤喜市郎さんのスピーチ楽しみにしています。
- 堀切 孝敏 会員 2s 欠席お詫び
- 伊堂 里佳 会員 2s 喜市郎さん、がんばって下さい。
- 渡辺 賢司 会員 2s 喜市郎さんのスピーチ楽しみにしております。
- 高倉 伶 会員 1s 前回欠席お詫び。先週は人生初の人間ドックでした。喜市郎さんのスピーチ、楽しみにしております。

## 祭り「すす払い」10月5日(木)9時~



牧子委員長からのおにぎりとお鯛のあら汁の差し入れに舌鼓



お神輿が無事完成！お疲れ様でした。

## マスコミ回り



外国人の方の参加を呼びかけました！

## ◆会員スピーチ

### 佐藤喜市郎 会員



今日は上町睦会の多田さんも助っ人に入っていただき、予定時間よりも早く完成しました。これは本当に皆さん方のやる気と作業を覚えてくれた結果だと感謝しております。怪我の無いように、そして、外国人の方が日本の伝統文化に触れて、母国に帰っていただき、今の緊迫した世界状況を柔らかくしていただければ、我々ロータリアンとしての世界貢献にもなるのではないかと考えております。それでは、私の拙いお祭りに関してのお話をさせていただきます。飯坂のお祭りは「けんか祭り」ということで、三大けんか祭りとして名前の知名度は上がっておると思います。以前は、けんか祭りとは言わず「太鼓祭り」でした。飯坂の太鼓祭りは「儀礼太鼓」ですので、今は本当の祭りのしきたりの儀礼太鼓から見れば、だいぶずれていると思っています。飯坂のお祭りは江戸時代からあり、以前は豆名月8月13日でした。

この地域は養蚕が始まったので10月1日になりました。ところが10月1日は割合雨にぶつかるので、少し遅らせようと10月の4, 5, 6日にしたのです。それが90年くらいは続いたと思います。しかし、世話人にサラリーマンも多くなり、平日では手伝いができません。約30年近くすったもんだがありました。ようやく今の第一金土日に変えていただいたので、やる方も氏子は大変やりやすくなったと私は思っております。お祭りでは屋台を出す場合、「お通知」を出します。しきたりでこれを出さないと自分の出し物を出せないのです。これは今も6町内同じです。お互いに出すわけです。以前は横町と上町の2町内でしたが、大正の中頃から昭和初期にかけて、上町から若錦町内が出ました。そして、昭和2年には滝の川が出て、ほぼ同じくして、横町から立綱が出ました。最後に、梶町と花水坂で梶花となります。これでちょうど今の6屋台が揃ったこととなります。今、我々ロータリーは神輿を出していますが、これは「二〇力(にわか)山車」です。「二〇力」という意味は、お祭りは二人以上の和を持ってみんなの力でやる。それがお祭りの原点です。当時は太鼓屋台や樽神輿など、私の記憶では全部で十数台出ました。うちもそうですが、みんなのし袋を用意しており、屋台は来るたびに「どうぞ二〇力でも何でも、うちの踊り屋台ご覧なしてください」という言葉を使って回るのです。そうすると、その駄賃として「お花」をあげてもらった。そういったのが以前のしきたりだったのです。今はそうではありません。みんな予算を組んで、町内から出すようになってきました。今は終わった後、決算が出ますね。以前は決算書などありませんでした。赤字だったら誰かが補填していました。そういうことで、みんな楽しんだのです。それが氏子の祭りなのです。

この飯坂ロータリークラブの「ザ・まつり in 飯坂」と命名したのは堀切会員です。そして、これを始めようとしたのは亡くなった篠木さんです。彼はお祭りを最も盛り上げようと思い、ロータリーには国際奉仕委員会があるから、吉川屋さんや聚楽さんなど、近郷近在で就労をされていた外国人の方に、日本の伝統の祭りに参加していただいて、祭りを通してつながりを持ったら、世界平和にもつながるのではないかとというのが、彼の思いだったのです。それで樽神輿より神輿にしようとした話が始まりました。あの神輿は、芸者置屋組合の芸妓の方がみんなでお金を出しており、組合の事務局長が管理していましたが、それを神社の神輿蔵に四年前までは本体を置いていました。神社の神輿蔵を改装するというので、神社からうちの蔵に置くことになり、今度からは神輿蔵から運んで来なくなつてよくなったのです。会員の方々は、その辺のところの流れを覚えておいてください。今年は飯坂と湯野が毎日宮入りでした。それで今、担ぎ手がどっちも大変なのです。なぜ大変なのか、その経緯もお話しをいたします。飯坂のお祭りは、今は移御式という言葉を使っています。宵祭りの日、本殿から神輿にご神体を移します。以前は移御式という言葉は使っておりませんでした。「御神換」という言葉を使っていました。「御神換」は6時からやります。その時、屋台は鳥居の前において提灯が点かれます。今、入る時は「下り半」で入りますが、あれはとんでもない間違いなのです。神社のしきたり、飯坂町のお祭りのしきたりからは外れています。あれは「宮入り」で入ります。そして、神社の式がありますから、その時はぶっ切って音が出なくなります。飯坂の祭りは元は儀礼太鼓ですから、そういう事はきちんとやってもらいたいというのが私の本音です。飯坂の太鼓の叩き方には、今のところ4通あります。一つは「下り半」、ご神体と対面した時だけ、そして、ご神体を追い抜いていく時「三切り」です。太鼓屋台同士は同等ですから、向かい合ってすれ違う時は「三切り」になります。巡行して、別な町内に入る時は「三切り」を叩いて、これから入りますよとご挨拶してから入ります。その時に合わせてやるから、儀礼太鼓なのです。だから太鼓祭りなのです。それがけんか祭りになったのは、いろいろ諸説ありますが、お祭りを終わらせたくないから、神社の本殿の前で待っているうちに、お互い勢い余ってぶつけて、なるべくご神体の中に入れないように、中に入ってしまう宮入りで終わりです。ところが今の飯坂のお祭りは、ご神体が3回くらい回ると神輿蔵に入ってしまうのです。以前、ご神体は今の拝殿に入れたのです。それは担いでいたからです。以前はぶつかったら脇でも後ろでもぶつかります。全部壊れてしまつて、それを見て民報新聞さんが、威勢がいいので「飯坂けんか祭り」と言い始めました。太鼓祭りよりけんか祭りの方がなんとなく飯坂の祭りとしては合うかなと思っています。そして、今の「流し」は遅い。5, 6年前まではロータリーも二〇力山車で太鼓を入れていました。そのテンポよりは「流し」は早いのです。そういうことを踏まえて、ステージで皆さんと共演する時はいいのです。飯坂のお祭りは儀礼太鼓ですから、そういう時にはこれは違うのだと、わかっていてやるならいいのです。わからなくてやるというのは、伝統的にまずいのではないかと私は思います。お祭りに関しまして拙い話でしたが、ご清聴ありがとうございました。無事お祭りが終わるように、よろしく願いいたします。

◆閉会点鐘 会長

### ■第4回理事会開催 10月5日(木) 13:30~「吉川屋」

《内容》①国際交流フェスティバルについて ②ガバナー公式訪問について ③ポリオ撲滅キャンペーンについて ④クラブとの合同例会について(福島北RC、福島東RC、飯坂RC) ⑤家族同伴親睦旅行について ⑥家族同伴親睦ゴルフコンペ・夜間例会について ⑦地区大会について ⑧県北第二分区合同例会について(川俣RC・蕎麦会) ⑨11月の例会プログラム ⑩その他  
《出席者》斎藤孝裕、菅野浩司、生田目正志、渡辺達也、吾妻一夫、畠 隆章、石川邦俊、紺野容樹、西山友幸、鈴木牧子、鈴木義明、油井明則、佐藤真也、佐藤喜市郎 以上の会員